



No.5 / 60

有脇小学校校長だより

2021・5・28



5月25日(火)今年度初めての“せんだいボランティア”の活動を行いました。有脇小学校には「コミュニティスクール」として「学校応援団」という組織が以前からありました。総勢約80名の組織です。有脇小学校は小規模校ですので、こういった地域の方やPTAの支援がないと成り立たない学校です。学校の緑も、とても豊かですが、伸び放題になっていました。“せんだいボランティア”のみなさんが年間4～5回せんだいをしてくださるおかげで、さっぱりとした環境で子どもたちが活動することができます。しかし、子どもたちが直接せんだいをしているところを見ることはありません。かげで学校を支えてくださっているんです。本当にありがとうございました。オリンピックどうする...

今回作業が終わって、いつもですと校長室で休憩をしていただくのですが、それさえも「子どもたちへのコロナの影響が心配だから」と言って帰っていかれました。黙々と作業をし、さっと帰っていく。なんだか“かっこええ”姿を見せていただきました。



5月10日(月)5年生が粃まき体験をしました。こちらも「学校応援団」の“稲作指導”のみなさんが教えてくださいました。これから1年間、実際に有脇小の田んぼ「みんなの田んぼ」に出かけ、稲作について学びます。どうぞよろしくお願ひします。

# タブレット端末を持ち帰る準備をしています

学校では一人に1台タブレット端末を配布し、授業で活用しています。そのタブレット端末を家庭に持ち帰って使用する計画が半田市で進められています。それとともなって先日、以下のようにお願いのプリントを配布させていただきました。ご確認ください。(持ち帰りは、市のWi-Fi環境整備と学校のルール徹底が完了しましたら開始予定です。)

## ① 「タブレット端末等借用申請書 兼 同意書」の提出について

(締め切り5月24日…未提出の場合、担任へ申し出て早急に提出してください。)

## ② 家庭のWi-Fi環境等の調査について

(締め切り5月28日…回答しないまま期限が過ぎてしまった場合は、小中学校で一番上のお子様の学校の担任に連絡してください。この回答がないと、家庭でタブレット端末の操作ができません。)

## ③ タッチペンの使用と準備のお願い

現在有脇小学校では、2ウェイ式のタッチペンを「児童への貸し出し」として取り扱っています。ただし、各家庭でご用意(ペンタイプのを推奨します。また充電式のものでも可です)いただいてもかまいません。基本的にはふで箱で児童本人が管理します。学校のを引き続き使用してもかまいませんが、壊してしまった場合は有償(200円)となりますのでご了承ください。



5年生で算数科の研究授業を行いました。この授業はタブレット端末と電子黒板を使って行われました。まず、タブレット端末に送られた表に数値を記入し、それを元に考えをまとめます。担任はその様子をタブレット端末で確認し、進んでいない子どもにアドバイスをします。その後グループでそれぞれのタブレット端末を持ち寄って話し合いをします。最後に発表をしますが、電子黒板には発表者のタブレット端末の画面が映し出されていました。また考え方を比較しするために、数人のタブレット端末の画面を写し出していました。とても効果的な学習方法だと思います。ただ、担任は“ノート”指導も大切にしていました。最初と最後にノートに書くことは、考えを整理し残す大切なスキルだと思います。